



2月11日、松木内の松葉地区で裸参りが行われました。今年は雨雪が降る中、地域の消防署員や県外からの参加者など、合わせて10人が参加しました。松木内川でお清めをした後、一行は金比羅神社をめざし、沿道の声援を受けながら元気に走り抜けました。



松木内川に入り、お清めする参加者。寒さが伝わります。



金比羅神社に到着後、着用していた腰みのとわらじを御神木に結び付けました。

### 松葉・相内の裸参り



## 寒いけどあったかい

市内では伝統の小正月行事が次々と開催され、寒さを吹き飛ばす心温まるイベントに、多くの観客が魅了されていました。

館山参道に設置されたかがり火に火を灯す児童。



会場では綱引き大会など多彩なイベントが行われました。



館山参道のかがり火とミニかまくらの光が来場者を魅了します。



### 白岩城址燈火祭

2月3日、17回目となる白岩城址燈火祭が白岩地区の特設会場で開催され、多くの人が訪れました。

中世と近世の白岩の栄華を光で再現するこのお祭り。雲巖寺の鐘の音と共に、中世白岩城址の館山参道に設置されたかがり火500個と近世平城跡に設置されたミニかまくら300個に白岩小学校の児童たちが火を灯すと、辺りには幻想的な光の世界が広がりました。

### 角館の火振りかまくら



市指定無形民俗文化財である火振りかまくら。炭俵には1kg程の縄が結ばれていて、その縄で俵を振り回します。



角館町に古くから伝わる小正月行事「火振りかまくら」が2月13日、松木内川堤沿いの桜並木駐車場で行われました。会場では、五穀豊穡や無病息災を願い、たくさんの火の輪ができ、冬の夜に幻想的な光景が広がりました。

今年は600個の炭俵が用意され、地域住民のほか訪れた観光客などが回し方を教わりながら火振りかまくらを体験していました。

翌14日には、降りしきる雪の中、角館町の各所で火振りかまくらが行われ、あちらこちらで火の輪が見られました。

### 上松木内の紙風船上げ



紙風船に願いごとを書き子どもたち。



空へ舞い上がる瞬間。願いが叶いますように。



2月10日、上松木内の紙風船上げが紙風船館広場で開催されました。当日は、湿った雪が降り続く悪天候となったため、打ち上げは午後7時過ぎに中止となり、膨らませた風船をご覧いただくことになりました。子どもたちや上松木内の集落の皆さんが丁寧に作った約600個の紙風船が膨らみ始めると、周りにはたくさんの人が集まり、思いおもいに写真に収めたり、じっくり見上げたりしていました。

会場では、地元のお母さんたち手作りの屋台や紙風船に1年のお願いごとを自由に書き込むコーナーなどが賑わいをみせていました。